

創政クラブ

「地方分権」という言葉が施政方針の随所に登場する。自主的な行政運営への心構えと受け止めている。特に、芦屋の景観について自己決定が可能となる景観行政団体への移行を高く評価したい。また、次世代に対する教育や福祉施策として、全国に先駆けて学校の耐震化を完了することや、市立芦屋病院と連携しての病児保育事業のスタートなど、芦屋の未来を見据えた政策決定にも賛同したい。これらの行政サービスを持続可能にするためにも、さらなる事務事業の効率化を求めたい。

公明党

長引く景気低迷による市税など歳入の減少、一方、社会保障費などの増による歳出の増加により当分の間単年度収支の赤字を基金で穴埋めする厳しい財政運営が続く。市債の残高も平成二十二年度末で六百八十五億円とまだ高い水準である。このような中、戸建て向けの太陽光発電への助成乳児と絵本の出会いを確保するブックスタート事業、芦屋病院での病児保育事業の開始、妊婦検診助成事業の継続、小中学校図書費の増額など、公明党が要望してきた施策を実施される点を評価する。

新社会党

長引く経済不況で、働く場所はなく給与は下がり、市民生活はあえない。行政サービスは住民福祉の増進が最大使命である。しかし新年度予算では過去の不要不急の用地取得費の償還に多額の支出をす一方、保育所待機児童解消、中学校給食実施、市内をくまなく巡回するコミュニケーションバス運行、児童・生徒の就学援助制度実施、高い国民健康保険料の引き下げなど、市民生活支援の姿勢が不十分である。財政再建を最大使命とした市政運営の成果達成の結果が、市民生活困窮では本末転倒。

施政方針に対して

会派からひびく

イーブン

景気が低迷し、市税収入が前年度に比べ大幅に減少する中で、学校の耐震化工事を他に先駆けて完了し、全国学力テストは全校で実施する予定で、「子ども読書の街づくり事業」に力を入れるなど、教育関係についてはたいへん評価したい。しかし福祉や衛生面では不十分で、例えば保育所の待機児童は依然として多く、保育所の増設や開園を強く望む。本市はがん検診の受診率が低く、県からがん対策重点市に指定されている。受診率向上のためさまざまな施策や運動を展開すべきである。

日本共産党

市民の暮らしは底なしの悪化を続けているが、市長の施政方針からは市民の暮らしの実態が見えない。収入が減るのに負担が増え、市税や社会保険料などの滞納者が増えている。そうしたところへの応援が急がれるのに、市長の姿勢にはない。財政が厳しいと言いつつ、指定金銭信託で十二億円運用し、基金三十億円取り崩して市債償還できる財力がある。福祉金カセット、奨学金縮小など「行政改革」で切り捨ててきた市民サービスを元に戻し、高すぎる国保料引き下げを。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員(任期・三年)
▽佐々木 豊氏(ささき ゆたか) 大原町在住。

予算特別委員会 22年度予算案を審査

平成二十二年度各会計予算案十四件の審査を行うため、三月五日(金)の本会議で、全議員で構成する予算特別委員会(委員長:長野良三、副委員長:重村啓二郎)を設置しました。

予算特別委員会では、予算案を三つの分科会に分割して詳細に審査しました。二十三日(火)の委員会で、各予算案に対する討論・表決を行いました。

陳情の委員会審査結果

陳情番号	件名	審査を行った委員会	結果
18	選択的夫婦別姓を認める民法一部改正に反対の意見書に関する陳情	民生文教常任委員会	結論を得ず(2/25)

可決した意見書(抜粋)

子供読書活動を推進するための予算確保を求める意見書

読書活動推進の取り組み効果があらわれているにもかかわらず、まさに「国民読書年」の本年に予算を削減するというのは、08年の国会決議にもとるものである。

子供の読書は、言葉を学び、感性を磨き、論理的思考や創造力などを高め、豊かな心をはぐくむとともに、さまざまな知識を得るなど、生きる力を養う上で欠かせない活動である。

よって、本市議会は、「政官民協力のもと国を挙げてあらゆる努力を重ねる」という国会決議を真に履行し、子供の読書活動を守り育てていくため、政府において、子供の読書活動を推進するための十分な予算を確保するよう強く求める。提出先:衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣

保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書

歯や口腔の機能が全身の健康や介護・療養上の改善に大きな役割を果たすことが厚生労働省の厚生労働科学研究等で実証されている。

しかしながら、公的医療費の抑制により患者の自己負担は増大し、保険で歯科診療を受けにくくなっている。

よって、本市議会は、国及び政府において、医療費の総枠を拡大し、患者負担を増加させることなく、保険でよりよい歯科医療を確保するため、次の事項を実現されるよう強く要望する。

- 記
- 1 患者の窓口負担を軽減すること
 - 2 良質な歯科医療ができるように診療報酬を改善すること
 - 3 安全で普及している歯科技術を保険がきくようにすること
- 提出先:衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

付議事件の審議結果

議案番号欄「議提」とあるのは、議員提出議案。

議案番号	件名	結果
1	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意(2/23)
2	21年度一般会計補正予算(第6号)	可決(3/4)
3	21年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(3/4)
4	21年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(3/4)
5	21年度駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可決(3/4)
6	21年度宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)	可決(3/4)
7	21年度病院事業会計補正予算(第2号)	可決(3/4)
8	潮見小学校耐震補強他工事請負契約の締結	可決(3/4)
9	山手中学校耐震補強他工事請負契約の締結	可決(3/4)
10	潮見中学校耐震補強他工事請負契約の締結	可決(3/4)
11	市自転車駐車場の指定管理者の指定	可決(3/4)
12	訴えの提起について	可決(3/4)
13	訴えの提起について	可決(3/4)
14	文化基本条例の制定	可決(3/26)
15	市職員の勤務時間等条例及び一般職の給与条例の一部改正	可決(3/26)
16	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等の条例等の一部改正	可決(3/26)
17	一般職の給与条例等の一部改正	可決(3/26)
18	退職手当条例及び学校職員等の退職手当条例の一部改正	可決(3/26)
19	打出教育文化センター条例の一部改正	可決(3/26)
20	公民館設置条例の一部改正	可決(3/26)
21	あしや温泉の設置及び管理に関する条例の一部改正	修正可決(3/26)
22	市民会館条例の一部改正	可決(3/26)
23	国民健康保険条例の一部改正	可決(3/26)
24	都市公園条例の一部改正	修正可決(3/26)
25	病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正	可決(3/26)
26	22年度一般会計予算	可決(3/26)
27	22年度国民健康保険事業特別会計予算	可決(3/26)
28	22年度下水道事業特別会計予算	可決(3/26)
29	22年度公共用地取得費特別会計予算	可決(3/26)
30	22年度都市再開発事業特別会計予算	可決(3/26)
31	22年度老人保健医療事業特別会計予算	可決(3/26)
32	22年度駐車場事業特別会計予算	可決(3/26)
33	22年度介護保険事業特別会計予算	可決(3/26)
34	22年度宅地造成事業特別会計予算	可決(3/26)
35	22年度後期高齢者医療事業特別会計予算	可決(3/26)
36	22年度打出芦屋財産区共有財産会計予算	可決(3/26)
37	22年度三津津知財産区共有財産会計予算	可決(3/26)
38	22年度病院事業会計予算	可決(3/26)
39	22年度水道事業会計予算	可決(3/26)
40	子供読書活動を推進するための予算確保を求める意見書	可決(2/23)
29	保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書	可決(3/4)
30	保険でよりよい歯科医療の実現の意見書採択を求める請願	採択(3/4)
31	後期高齢者医療制度の廃止の意見書採択を求める請願	不採択(3/4)
32	くらし支える行政サービスの拡充に関する請願書	不採択(3/26)

議員研修会を開催しました

2月4日に、野村稔先生(元全国都道府県議会議長会議調査部長)を講師にお招きし、議員研修会を開催しました。

「議会基本条例の考え方」をテーマに議会のあり方、議員のあり方について、熱心な講義をしていただきました。講師の豊富な知識と経験を生かした内容で充実した研修会となりました。

